

「第14回 浜松市調べ学習コンクール」審査結果について

中央図書館

1 開催趣旨

図書館の本やインターネット等様々な情報を使って、日常生活や学習上の疑問点を考え、解決を導く「調べ学習」の研究レポートを募集し、その努力や工夫を評価することで、調べ学習の振興を促す。これにより、小学生の「問題発見・解決能力」や「情報活用能力」等、新しい時代に求められる資質・能力を養うとともに、図書館利用の促進を図る。

2 主 催 浜松市、浜松市教育委員会

3 後 援 公益社団法人浜松青年会議所、公益財団法人図書館振興財団

4 対 象 浜松市内の小学3～6年生

5 審 査 員 浜松市退職校長親和会及び主催、後援団体から選出した13人
(うち一人は審査委員長)

6 応募数

(1) 応募学校数 87校

(2) 応募点数 2,368点

学 年	応募人数
3年生	358人
4年生	479人
5年生	776人
6年生	755人

7 表 彰

市長賞、教育長賞、中央図書館長賞 各1人

優秀賞 各学年2人 計 8人

優良賞 各学年3人 計12人

奨励賞 各学年5人 計20人

学校賞 5校

8 表彰式

(1) 日 時 令和4年11月3日(木) 午前10時～11時

(2) 会 場 浜松市立中央図書館 大会議室

9 作品傾向

- ・国際理解や地理（SDGs、特定の都道府県の特徴や特産品、特定の国の歴史や暮らし）
- ・自然、災害、防災（宇宙、星座、身近な植物、鉱物、地震、環境問題、）
- ・歴史と文化（戦争、歴史上の人物、各地の史跡）
- ・郷土関係（徳川家康、浜松城、お茶、うなぎ）
- ・生き物（犬、ネコ、カメ、昆虫、恐竜）
- ・からだや病気（肌、筋肉、睡眠、認知症、食物アレルギー）
- ・社会と福祉（ユニバーサルデザイン、ヘッドネーション、特定の職業について）

10 全国コンクールへの出品

市長賞、教育長賞、中央図書館長賞、優秀賞、優良賞の計23点は、全国コンクールの三次審査に出品。

上位三賞受賞作品のあらましと評価について

市長賞

作品名「武蔵坊弁慶は実在したのか?!」

浜松市立豊岡小学校 6年 高山 結名

(作品あらまし)

5年生の時に、聖徳太子が実在しなかったという新聞記事を読んだことがきっかけとなり調べ学習を行った。その際、人物を深く理解できたが正解にたどり着くのは難しかった。今年は「武蔵坊弁慶」に焦点を当て、仮説を立て自分で答えを導いていく調べ学習に取り組んだ。弁慶についての資料を数多く調べ比較し、レファレンスサービスを有効に活用しながら詳しい人にもインタビューすることで仮説を深めていった。更に、ゆかりの地である岩手県平泉に向かい、「吾妻鏡」に有力な記述があることに気づき、それを調べたことをふまえて結論を導き出した。資料の性質ごとで信ぴょう性が異なることを理解し、自分自身の考えに反映しまとめ上げた。

(評価)

中央図書館を活用し、性質の異なる資料を比較しながら「私の考え」をはさみ、調べ学習を深めた。実地体験もふまえ、とてもよい経験ができた作品である。

教育長賞

作品名「浜松とミツバチと都市養蜂」

浜松市立広沢小学校 6年 磯部 咲季

(作品のあらまし)

自宅に毎年作られるハチの巣からハチに興味を持ち、5年生の時にその行動や人との関わりの歴史について調べた。今年は、ミツバチの分蜂が民家の庭木にできたことを新聞記事で知り、ミツバチについて魅力を調べる。ミツバチの暮らしや地球の生態を守っていることを調べ、採蜜体験をする中で、都市域のビルの屋上を利用して養蜂を行う「都市養蜂」があることを知り、その魅力を伝えたいと考えた。浜松市のシンボルであるアクトシティで行うことは可能か養蜂家や専門家に話を聞き、現地調査の結果選定した場所での都市養蜂の実現の可能性を、管理者である市役所に問う。調べていく過程がよくまとめられており、見やすいレイアウトとなっている。

(評価)

昨年から継続しているハチの研究をさらに深め、浜松市の魅力をつなげて調べ上げた点が評価できる。専門家の意見もふまえ、自分の考えをもち提案していく流れも感心した。

中央図書館長賞

作品名「『地図 3600 年の歴史』～どうやって地図は出来たのだろう～」

静岡大学教育学部附属浜松小学校 4年 堤谷 柚希

(作品のあらまし)

図書館で行われたこども郷土研究講座に参加し、日本で初めて地図を作ったのが伊能忠敬だと知り、地図の種類や作り方に興味をもったのが調べるきっかけである。地図の歴史や種類を調べ、伊能忠敬の測量の方法や軌跡を丁寧にまとめた。忠敬が地図を作るために天体観測をしていたことを知り、測量道具を自作し、実際に北極星の高度を測った。興味をもったことを調べ、更に体験することで学びを深めている。

(評価)

地図について様々な視点から調べ、細かくまとめた作品。特に伊能忠敬について詳しくまとめ、測量の歴史について丁寧にまとめた点が評価できる。実際に測量を行った点も大変すばらしい。